

## 2. 目指すべき都市の骨格構造

### (1) 上里町都市計画マスタープランにおける拠点の位置づけ

都市計画マスタープランにおいて、目指す将来都市構造が掲げられている中で、町内には用途地域内外にわたりいくつかの「拠点」が位置づけられています。

拠点名	概要	用途地域内外
中心拠点	神保原駅周辺を多様な都市機能の集積を図り公共交通の結節点を担う拠点として位置づける。	用途地域内
広域交流拠点	上里スマートインターチェンジ周辺を町内外の交流を促進する拠点として位置づける。	用途地域外
生活交流拠点	公民館周辺を地域コミュニティの活動の場を担う拠点として位置づける。	用途地域内外
産業活動拠点	工業団地や大規模な工業地を産業拠点として位置づける。	用途地域内
レクリエーション拠点	上里町烏川神流川総合運動公園、宮多目的広場サッカー場等をスポーツやレクリエーションを楽しめる拠点として位置づける。	用途地域外

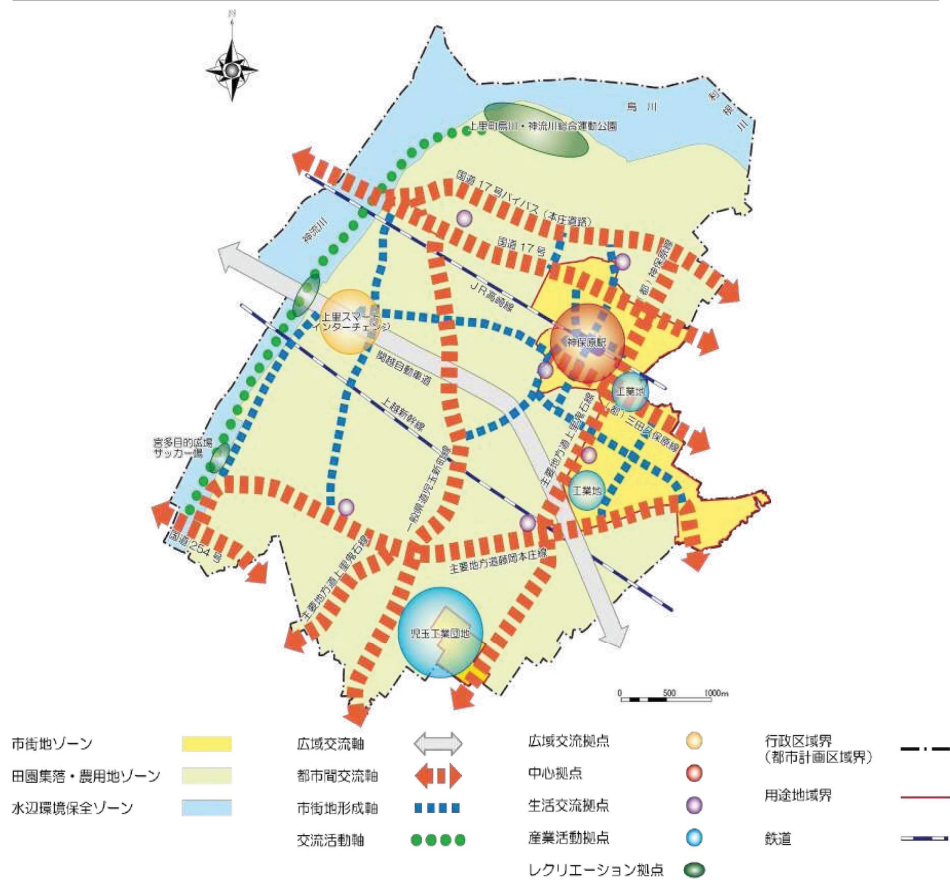


図 将来都市構造図

(資料: 上里町都市計画マスタープラン)

出典: 上里町「上里町立地適正化計画」

## (2) 立地適正化計画における「拠点」と「公共交通軸」の設定について

立地適正化計画では、「上里町都市計画マスタープラン」に掲げる将来都市構造を基に、その実現のため、以下を定めます。

- |  |
|--|
| ① 一定以上の人口密度を維持する居住地としての市街地の範囲                            |
| ② 生活を支える多様な都市機能の分散・拡散の抑止につながることを目的に、維持・誘導したい都市機能に対する誘導範囲 |

本計画における都市構造の拠点は、都市計画マスタープランにおける「中心拠点」を「拠点市街地」に位置づけ、用途地域が指定されている地域を基本として「住宅市街地」に位置づけます。

立地適正化計画における都市構造		位置づけと考え方
拠点	拠点市街地	都市計画マスタープランにおける「中心拠点」を基本に、多様な機能集積と高密度な人口集積を目指す拠点を、「拠点市街地」として位置づける。
	住宅市街地	用途地域が指定されている地域を基本に、「拠点市街地」の生活サービス施設や公共交通サービスを支える、一定の人口密度を維持する地域を「住宅市街地」として位置づける。
	生活交流拠点	既存集落の公民館周辺を、地域コミュニティの活動の場を担う「生活交流拠点」として位置づけ、「拠点市街地」との公共交通アクセスを確保する。
軸	公共交通軸	各拠点間を結ぶ役割を担い、通勤通学や日常生活を行う上で利便性が高い公共交通路線の位置づけを行う。

※ 国が示す「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の両輪は、「立地適正化計画」と「地域公共交通網形成計画」とされており、都市構造の骨格として示すのは、拠点と拠点間をつなぐのは道路ネットワークではなく、公共交通ネットワークとなります。

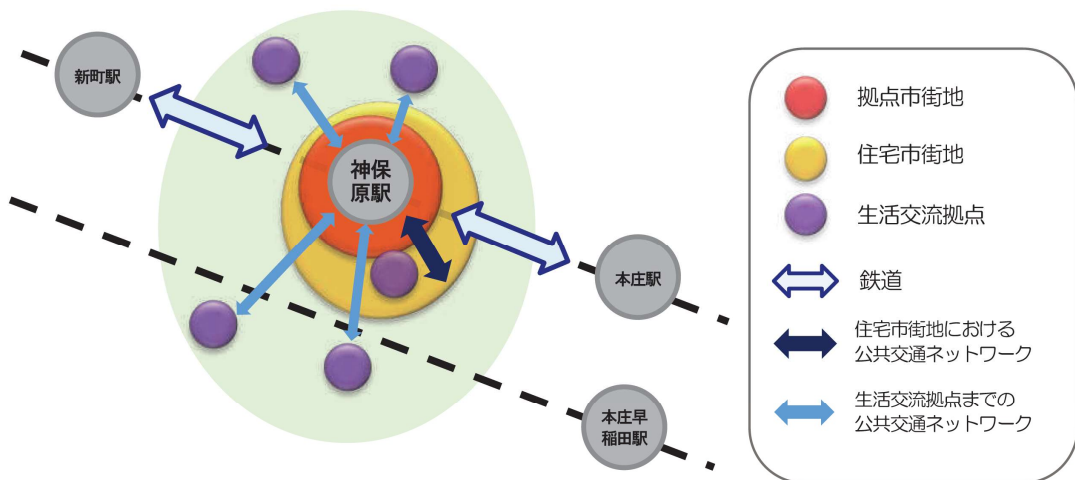


図 都市構造の模式図

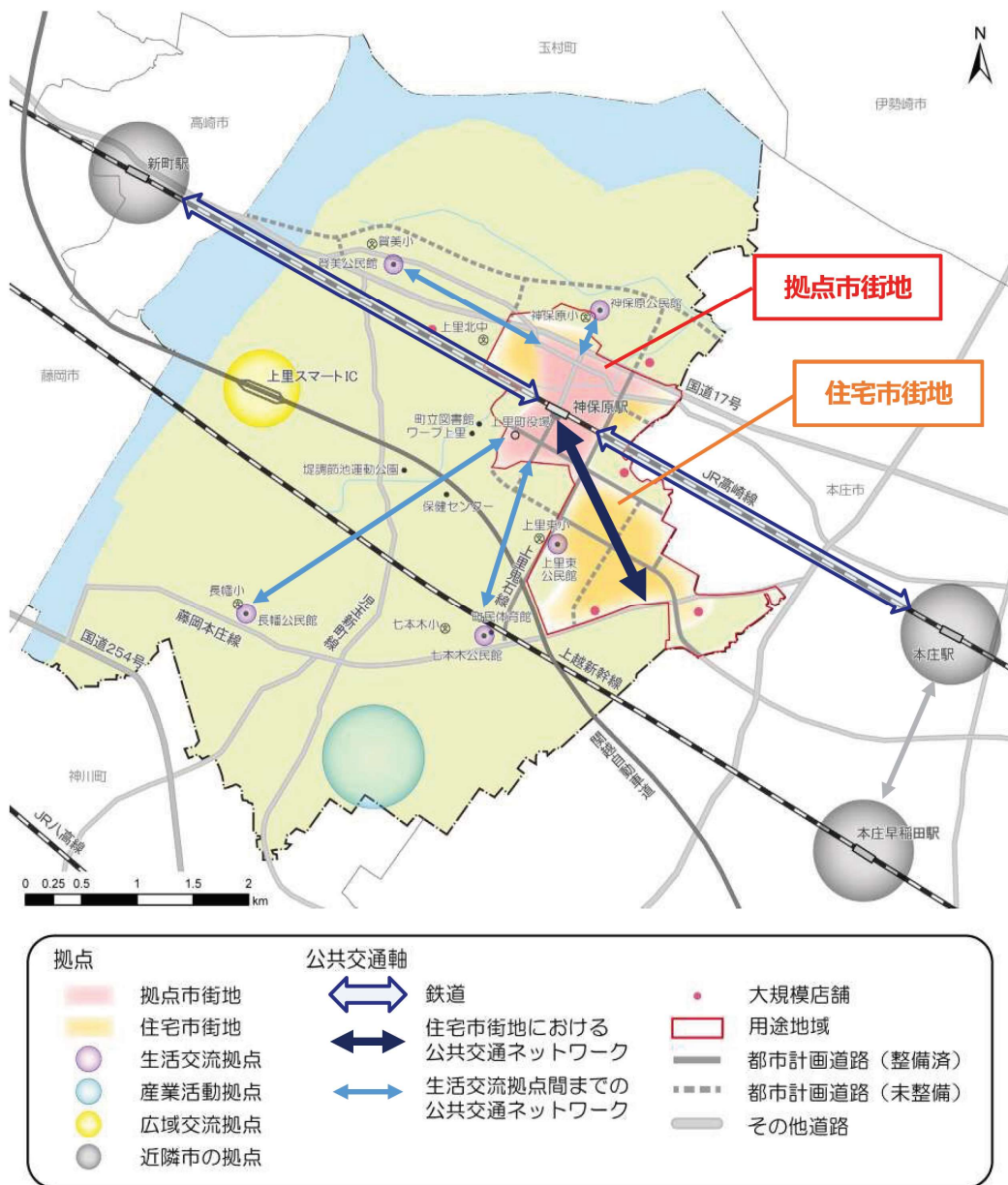
出典：上里町「上里町立地適正化計画」

### (3) 立地適正化計画で目指す都市構造

神保原駅を中心とする「拠点市街地」と、その周辺に広がる「住宅市街地」を基本とした都市構造の構築によりコンパクトで持続可能な都市構造を目指します。

また、都市機能を集積する「拠点市街地」へのアクセス性を高め、過度な自動車依存率の減少を目指し、「住宅市街地」における公共交通ネットワークの強化を図るとともに、「拠点市街地」と「生活交流拠点」を結ぶ公共交通アクセスを確保する、コンパクトシティ・プラス・ネットワーク型の都市づくりを進めます。

※ 都市計画道路は、上里町都市計画マスタープラン（第4章全体構想『道路交通網の方針図』）を参照。



出典：上里町「上里町立地適正化計画」



## ⑥上里町公共施設再配置・維持保全計画

・計画期間（計画の目標年次） 令和 11 年（2029 年）

集会施設と保険福祉施設の一部について、解体・機能移転、統合が計画されている。これらの施策が、町内の移動の流れに影響を与える可能性がある。

### 【集会施設】

- ・中央公民館・コミュニティセンター、賀美公民館、長幡公民館、七本木公民館は施設及び設備の老朽化が著しいことから建物は解体とします。中央公民館・コミュニティセンターの機能は総合文化センターに移転、賀美公民館、長幡公民館の機能はそれぞれ地区児童館に機能を移転し、七本木公民館の機能は男女共同参画推進センターに移転します。
- ・上里東公民館、神保原公民館は、機能回復改修を実施し、施設の機能維持を図ります。
- ・機能移転時期を考慮し、施設利用上の安全と衛生の維持に必要な改修を実施します。
- ・男女共同参画推進センターは、機能回復改修を行うと同時に七本木公民館との複合化を図ります。（男女共同参画の推進という目的が失われることがないよう努める。）
- ・利用者のニーズに合わせて必要な室数と調理室を増築・改築によって確保すると共に、エントランス、トイレ、事務室などの共用可能な空間を共用し、施設運営効率化を図ります。

### 【保健福祉施設】

- ・保健センター、福祉町民センター、老人福祉センターかみさと荘は施設及び設備の老朽化が著しいほか、耐震化が課題となっていることから、機能を統合し建替えを行います。ただし、老人福祉センターが備える温浴施設機能については維持管理上のリスクが大きいため、当該施設には含めないものとします。（健康増進事業としての運動ができるスペースや講演会等のイベントを行うための多目的スペースの確保について検討する。なお、民間にできる事業は外部委託（アウトソーシング）し、民間活用も同時に検討していく。）
- ・機能複合化によって多様な利用者の増加が見込まれるため、町の中心に近い場所であることや駐車場の確保などには十分配慮します。
- ・施設の管理については、指定管理者制度の導入を検討します。

出典：上里町「上里町公共施設再配置・維持保全計画」



図 公共施設位置図

※赤線部は、解体・機能移転または、統合が計画されている施設。

## 1-2. 上里町の交通特性

### (1) 公共交通の特性

#### ① 鉄道 (JR 神保原駅)

##### 1) 運行状況

上里町北東部にJR高崎線の神保原駅が位置しており、平日においては、朝の通勤・通学時間帯は1時間に7～8本、昼間の時間帯は1時間3本、夕方の帰宅時間帯は1時間3～5本走っている。休日は1時間3～4本程度となっている。

##### 2) 利用状況

鉄道の利用状況を以下に示す。令和元年度までは、利用者数は年間100万人程度で横ばいとなっていた。その後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、令和2年度には大きく減少したが、令和3年度には回復傾向にある。

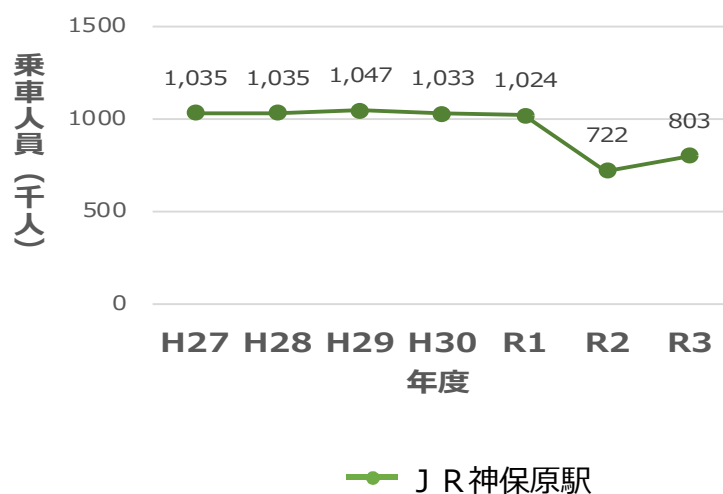


図1-2-1 JR神保原駅の利用者数

表1-2-1 JR神保原駅の利用者数

年度	乗車人員(人)		
	総数	定期	定期外
平成27年度	1,034,686	753,385	281,301
平成28年度	1,035,488	752,655	282,833
平成29年度	1,046,852	751,806	295,046
平成30年度	1,032,508	747,867	747,372
令和元年度	1,024,434	747,372	276,696
令和2年度	721,605	571,955	149,650
令和3年度	803,000	617,215	185,420

出典：埼玉県統計年鑑

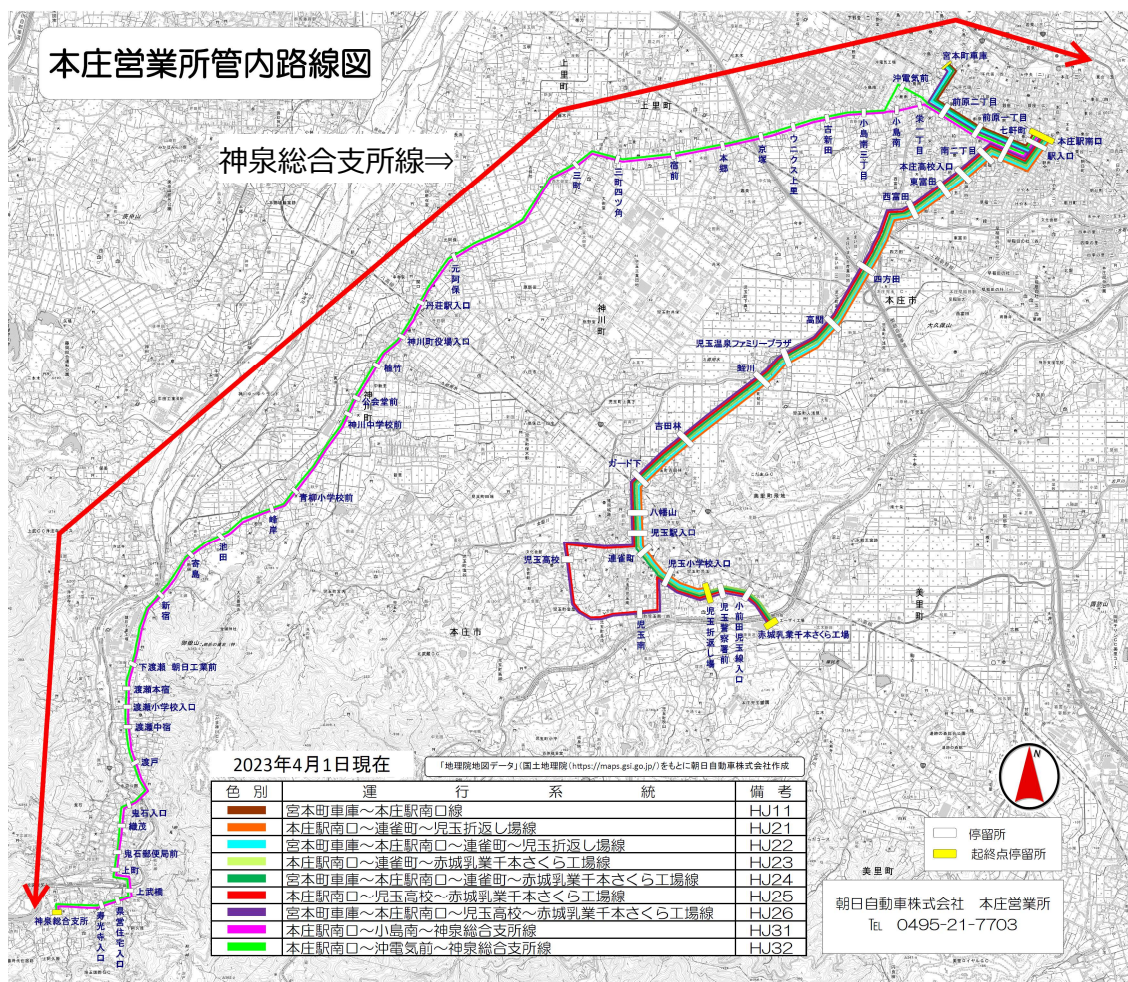


## ②路線バス（神泉総合支所線）

### 1) 運行状況

上里町内では朝日自動車が1路線（沖電気経由と小島南経由の2系統）運行しており、本庄駅から町内を經由し、神川町の神泉総合支所までを結んでいる。1日の運行本数は神泉総合支所行き、本庄駅南口行き、各20本ずつとなっている。

この路線は、沿線市町や事業者の運営努力だけでは、路線の維持が難しいため、地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統補助）の補助を受けるとともに、本庄市、神川町、藤岡市、朝日自動車株式会社と運行に関する協定を締結し、上里町からも補助金を拠出することによって運行を維持・確保している。

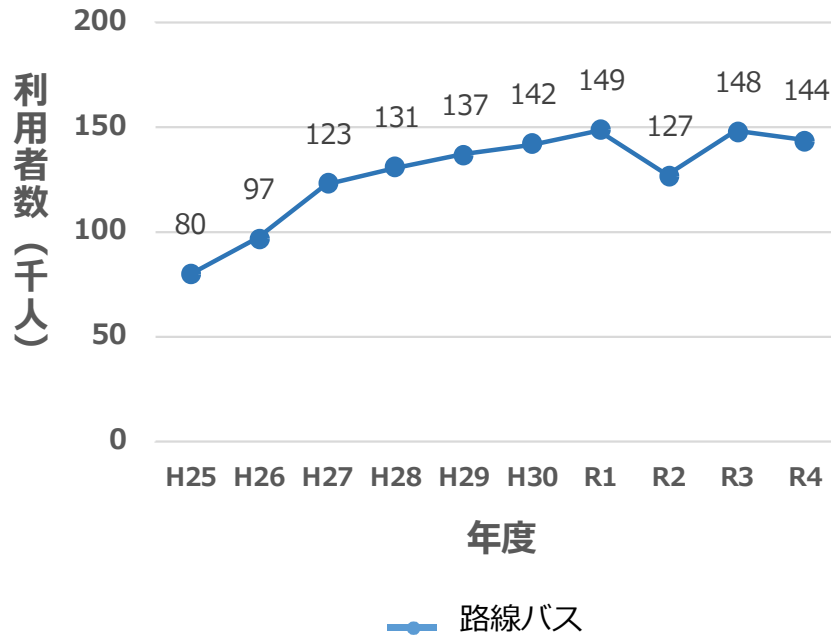


出典：朝日自動車Webサイト「路線図」、  
<https://www.asahibus.jp/bus/route/>

図1-2-2 朝日自動車路線図

## 2) 利用状況

路線バスの利用状況を以下に示す。利用者数は令和元年度までは増加傾向であったが、令和2年度に大きく減少し、その後、令和3年度には回復傾向にある。



出典：朝日自動車資料

図1-2-3 路線バス（神泉総合支所線）の利用者数

### 【参考】

路線バスを運行する朝日自動車は、学生を対象に「特殊学生定期券」を発行している。朝日自動車グループ全路線が乗り放題となる定期券で、平成26年に当該定期券の広告を強化したことから、利用者の増加に繋がっている。



### ③タクシー

上里町内では以下の3社が運行している。

表1-2-2 上里町内のタクシー事業者と保有台数

会社名	所在地	保有台数		
		一般車両数	ハイヤー	福祉車両
(有)本庄合同タクシー	上里町神保原町264	4	—	—
	本庄市本庄1-1-26	20	—	—
本庄タクシー(株)	本庄市本庄2-2-25	27	—	—
(有)明日香交通	本庄市けや木3-13-15	13	—	—

出典（上里町内で運行している事業者）：taxisite、<https://www.taxisite.com/>

出典（所在地・保有台数）：一般社団法人埼玉県乗用自動車協会Webサイト

「加入事業者」、<http://www.taxi-saitama.or.jp/page2.html>

#### ④こむぎっち号

上里町が運行する公共交通は、平成15年（2003年）より「福祉巡回バス」として運行を開始し、平成24年（2012年）に「町内巡回バス」として再編、さらに平成28年（2016年）に「こむぎっち号」として再編されたものである。

現在のコミュニティバス「こむぎっち号」は月～土曜日（祝日含む）に5ルート運行されている。なお、令和元年（2019年）9月にダイヤ改定が行われ、北部ルートと南部ルートは隔日運行となる代わりに増便となった。また、令和3年3月には、北部ルートと南部ルートのルート再編を実施し、3ルートから5ルートとなった。

変更内容も含めた各ルートの概要を以下に示す。

「こむぎっち号」は上里町と運行事業者の運営努力だけでは路線の維持が難しいため、地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー補助）の補助により運行を維持・確保している。

表1-2-3「こむぎっち号」各ルートの運行経路

平成28年運行開始時

ルート名	経路
中央ルート	アグリパーク上里 — イオンタウン — カインズホーム — 保健センター — ワープ上里・図書館前 — 上里町役場 — 西原町 — 神保原駅 — 群馬銀行 — とりせん北 — ウニクス
北部ルート	アグリパーク上里 — イオンタウン — カインズホーム — 保健センター — 上里町役場 — 神保原駅 — 群馬銀行 — とりせん北 — ウニクス
南部ルート	アグリパーク上里 — 保健センター — ワープ上里・図書館前 — 上里町役場 — 西原町 — ウニクス



令和3年3月改定

ルート名	経路
中央ルート	アグリパーク上里 — イオンタウン — カインズホーム — 保健センター — ワープ上里・図書館前 — 上里町役場 — 西原町 — 神保原駅 — 群馬銀行 — とりせん北 — ウニクス
北部ルート (アグリパーク上里循環)	アグリパーク上里 — イオンタウン — 神保原駅北口 — アグリパーク上里
北部ルート (ウニクス循環)	ウニクス — 神保原駅北口 — カインズホーム — ウニクス
南部ルート (アグリパーク上里循環)	アグリパーク上里 — 上里町役場 — 神保原駅南広場 — アグリパーク上里
南部ルート (ウニクス循環)	ウニクス — 上里町役場 — 神保原駅南広場 — ウニクス

表1-2-4「こむぎっち号」各ルートの運行状況・改定内容

項目	運行開始時	平成元年9月改定	令和3年3月改定
運用台数	中央：2台 北部・南部：各1台	中央：2台 北部：2台(月・水・金) 南部：2台(火・木・土)	変更なし
運行日	中央・北部・南部 ：月～土曜日	中央：月～土曜日 北部：2台(月・水・金) 南部：2台(火・木・土)	変更なし
運行本数	中央：16本 北部：5本 南部：4本	中央：16本 変更なし 北部：10本 南部：10本	中央：16本 変更なし 北部 (アグリパーク上里循環)：8本 北部 (ウニクス循環)：8本 南部 (アグリパーク上里循環)：8本 南部 (ウニクス循環)：8本
所用時間	中央：50分 北部：94分 南部：117分	中央：46分 北部：75分 南部：92分	中央：46分 変更なし 北部 (アグリパーク上里循環)：43分 北部 (ウニクス循環)：45分 南部 (アグリパーク上里循環)：44分 南部 (ウニクス循環)：43分